

生麦中だより

令和3年(2021) 5月【2号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

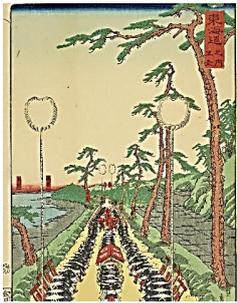
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

ふえきりゅうこう
「不易流行」 ～変わらないものと変わるもの～

副校長 森 康昭

◆生麦中学校と地域の印象

今年度の4月より着任しました副校長の^{もり やすあき}森 康昭です。みなさん、どうぞよろしく申し上げます。
着任してから早くも一か月が経ちました。鶴見区の学校の勤務は初めてだったので、とても新鮮な気持ちで生麦中学校に来ました。また、ずい分前のことになりますが、生麦中学校で毎年夏に剣道の3年生大会があり、顧問として部員と一緒に生麦中までの坂を上った記憶があり、とてもなつかしい気持ちもありました。当時は丘の上にある学校のイメージしかありませんでしたが、実は校舎からの眺めが大変素晴らしく、空と海がとても近くに感じる地域だと思いました。校舎の中を吹き抜ける風もとてもさわやかで気持ちが良いです。この地域で縄文の大昔から人が暮らし、交通の要所であったのもうなずける気がします。



◆生徒のみなさんの印象

生麦中学校に来て、豊かな自然と歴史以上に印象的だったのが、活気のある生徒のみなさんです。部活動がんばっている姿をたくさん目にします。廊下ですれ違うと、どの学年の生徒もよく挨拶をしてくれます。まだ大きな行事は行われていませんが、連休前の避難訓練では732名の全校生徒が6分ほどで教室から校庭への移動と点呼を完了しました。短い時間でしたが生徒のみなさんの真剣さがよく伝わってきました。授業では子安台公園での国語の朗読の授業を見学しました。その際にベンチで空を眺める2年生の男子生徒に朗読をお願いしたところ、素敵な朗読を聞かせてくれました。とても心温まる思いになりました。

4月からのこの一か月間は、私にとってあつという間の時間でしたが、毎日一生懸命過ごしている生徒のみなさんの姿から、たくさん元気をもらっていました。ありがとうございます。

◆73年の伝統の継承

今はコロナ禍で、何十年分くらいの変化が突然訪れ、様々な制限のもとに学校生活を送っています。しかしながら生麦中学校のみなさんのように、そんな中でも「よいもの」は変わらずにはっきりと光り輝きます。今の生麦中学校の中で生徒のみなさんや教職員の方々、保護者や地域の皆様が「大事にしているもの」を肌で感じながら、それをしっかりと継承していくことが大切だと感じています。

これからさらに、生麦中学校やこの地域のことを新たに知ることがとても楽しみです。今年度こそ、世の中がもう少し落ち着き、授業や行事・大会等が安心してできるようになっていくことを祈ります。

部活動オリエンテーション・部活動保護者説明会

4月12日（月）部活動紹介（オリエンテーション）、4月21日（水）は、部活動保護者説明会が行われました。

オリエンテーションでは、各部活動が活動方針や練習内容を紹介しました。感心したのは、どの部活動も礼儀正しく、時間を守り、わかりやすく1年生に紹介していることでした。先生方の指導が活きていることが伺えました。

保護者説明会では、生麦中学校部活動が目指す姿を中心に顧問紹介、部活動別保護者会を開催いたしました。

生麦中学校では、部活動を通して、豊かな人間性とたくましく生き抜く力を育み、調和のとれた学校生活の実現を目指しています。（豊かで幸せになる）

部活動は「すること、みること、支えること、知ること」など、自分の所属以外の部活動の特性を知り、一緒に活動することも可能です。応援をしたり、サポートをしたりして関わることも必要だと思います。

運動系部活動11部、文科系部活動8部あり、全校生徒の約75%程度が部活動に所属しています。

（参考：横浜市全体では約84%の生徒が部活動に参加しています。運動61% 文化23%）

運動部活動は、横浜市中学校体育連盟が開催する市総合体育大会での活躍が期待されます。文化系部活動はその活動成果を市総合文化祭や各発表等で披露しています。

部活動は、学校教育活動の一環であり、重要な教育活動としてとらえています。生徒の自主的・自発的な参加が望まれます。

同時に、学校生活を一緒に送っている仲間と取り組むことで、知識や技能だけでなく、仲間意識、諦めない心、粘り強さ、感謝の気持ちや思いやりなどの豊かな感性を育むことができると考えています。

生麦中学校教職員の志が部活動を支えていることも確かです。

各部活動の大会日程や活動予定につきましては、部活動顧問にご確認をお願いします。

まん延防止等重点措置の延長について

5月11日までを適用期間とした、まん延防止等重点措置が5月31日まで延長されることとなりました。

◆基本的には、これまでの取組を継続します。

・本校では、修学旅行（集団宿泊的行事）を5月実施から9月実施に変更しています。また、6月実施の体育祭に関連して、再度検討して行う予定です。

・部活動：引き続き、感染リスクの高い活動は可能な限り避けて活動します。県内の大会への参加については、開催状況・感染症対策を確認し、学校で判断を行います。

◆4月28日に文部科学省が衛生管理マニュアルを改訂し、変異株についての知見を示しましたのでお知らせいたします。

・従来よりも感染しやすい可能性がある変異株

(N501Y) は、子供が大人より感染しやすいということではなく、どの年齢であっても感染しやすい可能性がある

・従来株と比較すると、変異株の子供への感染力は強い可能性がある

・現段階では、15歳未満で明らかな感染拡大の傾向は見られない

・変異株への対策については、従来株と同様に、3密の回避、マスク着用、手洗いなどの基本的な感染症対策を推奨

各相談窓口について

令和3年度の各相談窓口について、下記のようにお知らせいたします。

令和3年度

◆「セクシャルハラスメント相談窓口」

生徒担当 養護教諭 米田さきえ

教職員担当 副校長 森 康昭

◆「学校生活等全般に関わる相談窓口」

生徒指導専任教諭 佐々木 靖弘

◆「学校カウンセラー」

徳永 みちる（毎週火曜日：来校）

Tel 045-581-3490（相談室直通）

◆「スクールソーシャルワーカー（SSW）」

梨本 桂子（必要に応じて）

*一人で悩まないで・・・

*一人で抱え込まない・・・

◆生麦中学校教職員は、一緒に考え、相談を行います。